



きょうされん  
千葉支部会報



発行 きょうされん千葉支部事務局 広報委員会

2014年12月5日

## きょうされん全国大会 in かながわ

9月22日・23日、神奈川県のパシフィコ横浜にて第37回きょうされん全国大会が行われました。全国から1200人以上の障害のある人が集まり、家族・職員・関係者を含め3000名を超える参加者となりました。千葉支部からは20名ほどの参加がありました。



障害者権利条約を批准した年に開かれた今大会、一人ひとりが多くの事を考え、学び、とても実りのある大会になったと思います。

大会は大成功のうちに幕を閉じました。参加者、関係者の皆様、お疲れ様でした。

来たる第38回大会は、兵庫県での開催となります。来年も多くの方の参加をお待ちしています。

今大会は日本が国連障害者権利条約を批准し、またきょうされんが新たなスローガンを確定して初めてとなります。

この大会において、わたしたちは障害のある人もない人も共に生き、夢をもてる社会のあり方を深め合いました。

そして、これを実現するために、障害者自立支援法訴訟の基本合意文書や総合福祉部会の骨格提言、権利条約を正確に学び、存分に活かすことの大切さを確認しました。合わせて、これらの実質化をはばむ様々な障壁や企てに対峙し、毅然と行動することの大切さを確かめ合いました。

—第37回全国大会アピール文  
より抜粋



### 宮城・岩手・福島からも応援

被災地3県の作業所からも販売に来ていました。

写真の展示コーナーも設けられており、被災地で頑張っている仲間たちの様子が伝わってきました。



# きょうせれん全国大会

9月22日(月) / 大会一日目

## ウェルカムアワー

- ・主催地神奈川から大会テーマをさける
- ・ウェルカム太鼓

なかまをつくる  
みんなのしあわせ  
わたしのみらい

## オープニングセレモニー

- ・開会全体会
- ・開会挨拶
- ・基調報告

## 記念講演

- ・吉原毅氏(城南信用金庫理事長)  
信用金庫の挑戦  
～原発のない安心できる社会の実現をめざして～

信用金庫のトッスの方が、脱原発のお話をされたことには驚きました。原発は実はコスト高であり、世界的に常識となっている事実を聞き、改めて日本のエネルギー政策について国民的な議論を展開していかなければいけないと感じました。

## みらい宣言☆ゆめリレー

- ・マイクをたすき代わりに「ゆめ」が日本を縦断

利用者の方々が舞台の上から一人一人自分の「ゆめ」を会場に向かって叫びました。『グループホームに入りたい』『彼女がほしい』『結婚したい』などの「ゆめ」がありました。それぞれのゆめが叶うことを願いたいと思いました。

## sing. sing. sing.

- ・白井貴子さんと一緒に歌おう！  
『CHANCE!』『みんなに知って欲しいこと』『みんなの未来』
- ・みんなで大会ソングを歌おう！  
ラテンパーカッションバンド『ザ・ボルケーノ』の演奏

## 大交流会

- ・ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの美味しい料理とお酒
- ・神奈川当事者部会『たんぽぽの会』企画のゲーム
- ・グッズデザインコンクール表彰式



# 参加者レポート

千葉支部から全国大会に参加した方の中から、職員・利用者それぞれ一名ずつの声をお届けします。

9月23日(火・祝) / 大会二日目

## 分科会/入門講座

### 利用者フォーラム

#### 「相談支援」分科会

私どもの法人では相談支援事業所を持っておりませんが、相談支援ということでは日常業務の中でも行なわれていることから、相談支援事業を行なっている方とその利用者の方のディスカッションを聞き、様々な視点を学ぶ必要があるという思いでお話を聞いておりました。

その中でも相談の原点は「相談者が話す内容を耳、目、そして心で理解するだけでなく、言わんとしている気持ちを理解しようとする、そういう姿勢で臨まなければ相手の真意に気付けないということである」ということでした。

そして大切なことは「相談した人と相談された人との間で話の内容にギャップがないことであり、聞いてほしいことと受け取った内容に差がないようにし、解決を求めているのにそれに気付かないということにならないようにする」という言葉に私は深く共感いたしました。

#### 「利用者交流」分科会

##### ～こちらは人づきあい相談所

参加者は50名～70名ほどで、自己紹介だけで1時間ほど掛かりました。

「友だちがほしいのですが、どうしたらできるのか」というレポートが提出されていまして、そのテーマでの意見交換が始まりました。「人に声を掛けたり、やさしく接する」などいろいろな意見がありました。

「職員さんと利用者は友達になれるかなれないか」というテーマでは、「立場が違うから友達になるというのは無理ですが、同じ仕事をする上で仲間になれるのでないか」という意見でまとまりました。私もそのとおりだと思います。

人づきあいは大変なこともたくさんありますが、楽しいこともたくさんあります。作業所やいろいろな場所で、人づきあいができるということは幸せだと思います。

## 閉会全体会

- ・ 大会アピール
- ・ 第38回兵庫大会への引き継ぎ会
- ・ 閉会挨拶

この大会で多くの事を学びました。私の事業所の職員にも伝えていきながら、自分自身も日々の支援に活かせるよう努めていきたいと思っております。ありがとうございました。

きょうされん千葉支部 浜畑力也

会場に到着した時は、海沿いの施設ということでとても景色も良く晴々とした気分でしたが、終わってみれば「会場の広さと人の多さと資料の重さにお疲れ様」と感じました。そして皆さんありがとうございました。

トライアングル西千葉利用者 藤代幸子

# 第2回支部長・事務局長会議 要旨報告

きょうされん千葉支部事務局長 額建史

## 障害者権利条約批准後の課題

- ・ きょうされんは特定の政党支持はしないが、政治に関しては関心を持つべきである。「障害は社会的障壁」という視点から政治と密接につながっている。加えて、「平和」でなければ障害者・弱者は生きられない。「平和」と政治は密接な関連がある。アベノミクスの問題等、問題点はきちんと指摘していくことが大切である。
- ・ 自立支援法訴訟は2009年の政権交代と関連している。政治的变化なしに基本合意文書は無かった。
- ・ 精神科病棟転換問題について、来年度予算5億3千万円の概算要求に入った。これはモデルとなる10箇所の予算である。モデルはどこになるのか注意深く見守る必要がある。予算を使わせない取り組みを。厚生労働省の見解は、従来の「病院敷地外」の原則を変えてしまうものである。
- ・ 暮らしの問題としては、家族依存の実態、65歳問題<sup>①</sup>、社会福祉法人のあり方の問題<sup>②</sup>、生活保護問題<sup>③</sup>、受益者負担の問題などがあるが、新しい制度改革推進会議では異論者は排斥された。総合支援法の9項目の課題<sup>④</sup>も曖昧のままである。

## 障害者政策委員会と障害者差別解消法基本方針

- ・ 相談支援事業者におけるサービス利用計画の作成は、今年度末までに完遂することが厳しい。
- ・ 特別支援学校卒業生等の就労継続支援B型事業所の利用における平成26年度末までの経過措置について、その後が示されていない。
- ・ 就労継続支援A型連絡会、2015年2月に組織化。

## 安永健太さん事件・訴訟報告

- ・ 9月22日、民事控訴審第1回期日が行われた。東京・愛知・沖縄・宮崎以外の九州各県から計150名弱の参加者が集まった。警察側弁護士より早期結審を主張し、それに対し原告側が反論するやりとりもあった。次回期日は12月15日16時より福岡高裁大法廷で行なう。
- ・ 九州では安永健太さん死亡事件を考えるつどいを、福岡を皮切りに長崎・鹿児島・大分にて、いずれも地元の幅広い関係団体呼びかけ人として開催。12月には熊本でもつどいの開催が検討されている。

## 第38回国会請願署名・募金運動

- ・ 12月3～9日を「がんばるウィーク」とし、すべての支部が取り組みを行なう。
- ・ がんばるウィークに合わせて行なう自治体への統一要望書については以下の通りとする。
  - ・ 地域活動支援センター補助金の増額と、国への意見書の提出
  - ・ 小規模作業所独自補助金の維持
  - ・ 65歳問題について通知の徹底
  - ・ 障害者差別禁止条例制定
- ・ 4月に地元国会議員への訪問活動を行なう。
- ・ 5月28日に国会請願行動を行なう。直前には有力議員に対する地元からの働きかけを。

## きょうされん事務局移転

- ・ 現在きょうされん事務局が置かれている東京都生協連会館が建て替えられることになった。建て替えに伴う一時移転先は以下の通り。

一時移転先 東京都新宿区北新宿4-8-16

引っ越しは12月15・16日を予定。

## 注

### 1) 障害者の65歳問題

65歳以上の障害のある人と40歳以上の「特定疾病」該当者は、介護保険制度と重複する自立支援給付については原則として介護保険を優先することが、障害者総合支援法第7条に定められている。一方で、障害のある人への支援は個別性や高い専門性が求められるため、厚生労働省は2007年、自治体に「一律に当該介護保険サービスを優先的に利用するものとはしないこととする」と通知していた。

しかし、全国各地で障害のある人が、本人の意思や選択権が考慮されることなく、要介護認定を受けることを強いられ、認定された要介護度ごとに定められた介護保険サービスが優先され、障害福祉の支援が制約されてしまうという事例が起こっている。さらに、市町村によって解釈・実施に差異があり、そのため同じ障害や生活状況にあっても、暮らしている場所によって福祉や介護の選択・利用に格差が生じている。

### 2) 社会福祉法人のあり方の問題

厚生労働省に設置されていた「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」では、社会福祉法人制度の意義・役割を問い直す厳しい指摘を受け、今後に向けたあり方に関する検討を行なってきた。きょうされんとしては以下のような見解を示している。

- ・ 社会福祉事業は公的責任のもとで実施されるべきである
- ・ 命と人権を守る社会福祉事業の経営主体は非営利性および公共性を貫くべきである
- ・ 「既存の制度活用」と「新たな制度の提言」は社会福祉事業の重要な役割の一つである
- ・ 複数の社会福祉法人が、支援を受ける人の視点にたった共同や連携を主体的に模索することなどを支援するしくみが必要である

### 3) 生活保護基準引き下げ問題

最後のセーフティネットである生活保護基準はさまざまな制度と連動しており、基準の引き下げは現在生活保護を受給している人はもちろん、多くの市民の生活に多大な影響を及ぼすことが懸念されている（最低賃金や住民税の課税基準、保育料や就学援助など）。

きょうされんが実施した「障害のある人の地域生活実態調査」（2012年）では、生活保護問題と障害者問題が密接に関わっていることが明らかになった。国民全体の中で生活保護を受給している人の割合が1.5%であるのに対し、本調査では障害のある人の10.0%が生活保護を受給しており、その割合は6倍以上となっている。とりわけ「精神障害がある」と回答した人のうち、実に20%余が受給している。

### 4) 総合支援法附則第3条「3年後の見直し」における9項目の検討課題

- ・ 常時介護を要する障害者等に対する支援、障害者の移動支援、障害者の就労支援、その他の障害福祉サービスのあり方
- ・ 障害支援区分の認定を含めた支給決定のあり方
- ・ 手話通訳等を行なう者の派遣その他の聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者等に対する支援のあり方
- ・ 精神障害者及び高齢の障害者に対する支援のあり方

# 対県交渉要旨報告 ー 千葉県に対する要望と回答

きょうされん千葉支部事務局長 瀬瀬建史

放課後等デイサービスにおける職員の配置基準は、入所者10に対して職員2.5となっていますが、現実にはこの配置基準では運営が非常に困難であることは様々なところから指摘されているところです。見解を示してください。

(障害福祉課 療育班 回答要旨) 放課後デイサービスの指導員または保育士は、「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」第73条において、障害児の数が10までのものの場合2以上、障害児の数が10を超えるものの場合、2に障害児の数が10を超えて5またはその端数を増すごとに1を加えて得た数以上配置するよう規定されています。なお、この規定は、国で定める「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準」第1条第4号において、県が条例を定めるにあたって従うべき基準であるとされており、それを順守して設けたものです。

放課後等デイサービス定員規模(10人以下と11人以上)により、報酬単価の大きな格差を是正してほしいと願っていますが、この格差についての見解を示してください。

(障害福祉課 療育班 回答要旨) 県としては、サービス提供事業者の経営安定化を図るため、事業所の実態等をより一層反映した改定が行われるよう、国に要望してまいります。

放課後デイサービスを利用できる日数が、市町村によって違います。地域格差の実態を調査し、どこに住んでも必要な日数を利用できるようにしてください。

(障害福祉課 療育班 回答要旨) 放課後デイサービスを含む障害児通所支援のサービス支給量(利用日数)については全国一律の基準が存在しておらず、サービス利用者が市町村へ申請時に提出する障害児支援利用計画等を基に、障害児の置かれている環境等を総合的に勘案し、適切な1ヶ月あたりの必要利用日数を定めるものとされています。そのため、市町村によって必要なサービス利用日数の判断にあたり、若干の違いが発生するのはやむを得ないものと考えています。

障害者の日中活動や働く場を保障するため、小規模作業所・地域活動支援センターへの助成を県として拡充・実施してください。補助額を福祉サービス並に引き上げてください。

1) 地域間での福祉サービス格差が是正されるような手立てをとってください。

(障害福祉課 指導班・地域班 回答要旨) 地域活動支援センターの運営に係る経費については、地方交付税及び市町村地域生活事業による財源措置がなされていますが、それに加えて、県では地域活動支援センター及び小規模作業所の機能強化を図るため、「地域活動支援センター等支援事業」により、重度障害者等への支援、一般就労支援、家賃及び送迎に係る経費の一部の補助を実施しているところです。

2) 「相談支援の充実」の進め方を周知徹底すると同時に、相談に応じられる相談支援事業所の整備・充実の具体的な対策を講じてください。相談支援専門員の質・量ともに充実を早急に図ってください。相談支援従事者研修を増やし、有資格者の養成を図ってください。

(障害福祉課 地域班 回答要旨) 相談支援専門員の養成については、平成24年の国による相談支援制度の見直し以降、相談支援従事者初任者研修における受講者数の増大及び専門コース別研修による現任者のスキルアップに鋭意努めており、平成25年度においては、相談支援従事者初任者研修は629名、専門コース別研修は9コース延べ615名が受講・修了したところです。今後も、引き続き相談支援専門員の養成に注力してまいりたいと考えております。

FROM  
TOMO市

“TOMO市”とは、障害のある人たちが働いている作業所が出店しているネットショッピングモールです。

TOMO市に出店している千葉支部会員事業所の製品をご紹介します。



## 石けりコロロ

～ 地域作業所hana

今回ご紹介するのは、木更津市の地域作業所hanaさんの手作りお菓子「石けりコロロ」。船橋市の菓子工房アントレのトッスパティシエ高木康裕シェフ監修のボルポローネ。

ボルポローネとは、ほろほろとしたもろい口当たりのスペイン・アンダルシア地方伝統の焼き菓子。マザー牧場の牛乳を使い、ひとつひとつ丁寧に作られています。味はスレーン・いちご・ココアの三種類。



パッケージの可愛いイラストは、きょうされん販売事業でもおなじみの村上康成先生のデザイン。目にも舌にも贅沢な逸品は贈り物としても喜ばれること間違いありません。

TOMO市で購入できることはもちろん、マザー牧場でも常設販売されています。また、hanaさんが各地で出店しているイベントでも購入することができます。ぜひお買い求めください。

### 事務局員も太鼓判！

11月の事務局会議で、おやつに石けりコロロをいただきました。口溶けが良く、コーヒーによく合い、みんなの手が止まることなく食べきってしまう美味さでした！

TOMO市：<http://www.tomoichiba.jp>

# 事務局だよ！

## Schedule

- 12月7日(日) きょうされん千葉支部学習会  
「地域活動支援センター・就労支援事業所問題」学習会
- 12月23日(火) 千葉支部がんばるDAY  
JR千葉駅前にて街頭署名・募金活動
- 1月8日(木) 事務局会議  
NPO法人トライアングル西千葉にて開催
- 1月25日(日) 運営委員会  
開催場所検討中

## Activity

### <組織・運動委員会>

12月1日、新宿駅西口での中央がんばるデいに、千葉支部から職員4名、利用者6名で参加しました。

当日は朝から雨模様で寒い中での活動でしたが、みんなそれぞれの役割を一生懸命に務めました。「お願いします」「ありがとうございます」の声もしっかりと出すことができました。お疲れさまでした。



## あとかぎ

寒い季節になり、コンビニやスーパーのお菓子コーナーには多くの種類のチョコレートが並んでいます。いちご、きなこ、抹茶、キャラメル、多彩なフレーバーが充実し、新しい商品にはついつい買いたくなります。

そんなチョコ好きの私ですが、最近は甘みが強いものよりも、カカオ含有率70%以上の程よい甘さと苦味のあるチョコをよく食べています。

味の好みが変わり、昔は食べられなかったものが食べられるようになったことで、年を重ねた事を実感します。

さて、「千の葉通信」は今号で通算4号。編集作業はいつも楽に終わられた事はありませんが、読んでくださった方から上々の評判が聞こえてくると、「次号はさらに良いものを届けよう」というモチベーションになります。次号も楽しんで読んでいただけたらと思います。よいお年を。

(広報委員会 並木)

「障害のある仲間たちの応援団」とは、きょうされん賛助会員の皆さんです。

長年応援してくださっている方、新しく応援団に加わった方、たくさんの方がいらっしゃいます。お知

## 「障害のある仲間たちの応援団」になろう

り合いの方や地域の皆さんにも賛助会員に入会していただき、みんなで障害のある仲間たちを応援していきましょう。

詳しくは千葉支部事務局へお問い合わせください。



## 「言の葉」募集

きょうされん千葉支部会報「千の葉通信」をお読みいただき、ありがとうございます。

「千の葉通信」を読んで、どんなことを思いましたか？皆さんの思ったこと、考えたことをお聞かせください。皆さんの「言の葉」を、これからの支部活動、会報作りに活かしたいと思います。

メールでお寄せください

E-Mail: koto-no-ha@kyousaren-chiba.com



きょうされんネットショッピングモール

## TOMO市

全国の障害のある人たちが働いている作業所が店出しています。「安心」「安全」「手作り」を大切にして、オリジナルの商品や地域の特性を活かした地元企業とのコラボレーション商品を販売しています。

<http://www.tomoichiba.jp>

## お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。

きょうされん千葉支部

〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台2-6-1 京成稲毛ビル205号

トライアングル西千葉内

TEL: 043-206-7101 FAX: 043-207-7153

E-Mail: [contact@kyousaren-chiba.com](mailto:contact@kyousaren-chiba.com)

Web: [www.kyousaren-chiba.com](http://www.kyousaren-chiba.com)

